

令和6年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 にじいろクレヨン

にじいろクレヨンの目指す姿

にじいろクレヨン理念：東日本大震災の被災地を、子どもたちとともに居場所づくりを通して心豊かなまちにします。

【ビジョン（実現したい社会）】

（我々が描く未来は）**みんなが安心して暮らす（過ごせる）社会**（です）

【ミッション（私たちの使命）】

（我々は）**継続的な居場所づくりをします**

【行動指針】

1. 安全を確保する

子どもと子どもを取りまく人々の安全を第一に考え行動します。

2. 居場所を作る

ひとりひとりに寄り添い、ひとりひとりを見守り、心と遊びの場を作ります。

3. 遊ぶ 共に楽しみながら、育みのある遊びを提供します。

この法人は、1、「東日本大震災の被災児童支援の継続」2、「子どもを見守るコミュニティ作り」3、「子どもの健全育成に関する講座、ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力」の3つを柱として豊かな地域の新しいカタチ（誰もが自分が自分らしく生きることのできる社会）の実現を目指し、豊かな場の体現、実践をしながら、市民とともに認め合う文化が地域で醸成されることを目的とする。

【今年度の重点施策】

子どもも大人もボランティアも安心して過ごすことのできる居場所を作り続け、地域（釜地区、青葉中学校区地域エリア）にとって、にじいろクレヨンが子どもの居場所のシンボルやランドマークのような存在となることを目指す。

- ・安心安全に過ごせる居場所づくりの実践と（子どもへも大人へも）普及、啓発
- ・「子どもの権利」の普及、啓発
- ・地域全体で子どもを見守る雰囲気作りやきっかけ作り、文化の醸成

《 特定非営利活動に係る事業 》

1、「東日本大震災の被災児童支援の継続」

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
子どもの居場所づくり活動	【主な活動】 ハッピーマンデープロジェクト 日曜農園プレーパーク※1 放課後遊び場作り活動 【使用助成金・補助金】 ハタチ基金	212回	にじいろ農園 にじいろひろば 2か所	10名	子どものべ 1400名 大人のべ 400名 ボランティアのべ 40名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・やってみたいを大切にできる場所、安心していただける場所をつくる。 ・にじいろスタッフがいなくても地域の大人に「こうやりたい、こうしたい」が言える状態を目指す。 ・子どもも大人も一緒に遊んだり、一緒に過ごしたり、お互いが顔を知っている状態を目指す。 ・子どもがいつでも大人に助けを求められる（ポロっと言える、話を聞いてくれる大人がいる）状態を目指す。 ・子どもたち自身がそういう場所だと実感する。実感できている子が5人。 ・地域の大人が子どもに自ら声をかける状態を目指す。声をかける大人が5人				
	【前年度からの課題】 ・養育者から日常ではなかなかできないような自然体験活動に好意的な反応がある一方で、子どもたちから「お母さんに服を汚して怒られた。もう遊びに行つては駄目だと言われた」等の声もある。自然に触れる体験活動の必要性や、子どもが主体的に遊ぶことができる環境をどのようにして守ることができるかが課題である。				

2、「子どもを見守るコミュニティ作り」

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
にじいろ農園 農園カフェ にじいろプレーパーク（築山公園）	【主な活動】 ・子どもの見守り活動 ・みんな（子どもも大人も）の居場所作り活動 ・つながりの場作り活動 【使用助成金・補助金】 石巻市移動型プレパ補助金 みやぎチャレンジプロジェクト 石巻市心の復興事業	66回	にじいろ農園 復興住宅集会所 築山公園	10人	・子どものべ200名 ・大人のべ330名 ・ボランティアのべ50名
	【目標、定性目標、定量目標】 ・自然とあいさつの生まれる場を目指す。4か所（農園、道路、駐車場、千の杜） ・高校生を含むボランティアが気軽に来られる場所もしくは、気軽に参加できる場所となることを目指す。 ・大人（ボランティア含む）が子どもと関わろう（あいさつ含む）とする状態を目指す。20人				
	【前年度からの課題】 ・にじいろクレヨンに遊びに来ている子どもたちや乳幼児親子と近隣地域住民の大人との関係性の構築 ・ボランティアの受け入れ体制および広報				
事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
にじいろひろば	【主な活動】 子育て支援拠点事業 にじいろひろば事業 【使用助成金・補助金】 石巻市委託事業 石巻市心の復興事業	168回 (月14回)	にじいろひろば	4名	子ども2,700名 大人1,300名 ボラ15名

	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で安心して子育てができる環境をつくる ・妊娠から出産、新生児、幼児期、学童期に生じる問題に切れ目のない支援 <p>【定性目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、他団体と繋がることで利用者が安心して子育てできると感じられるようになる ・育児不安軽減のための講座等を開催 ・ひろばに来所することで SNS から離れられる時間が増える。ランチタイムや親子でゆっくり過ごせる時間と場所を創出し、利用者同士の対話（悩みを話しやすい空間）、他の親子との関わりが増え育児不安が軽減される。 <p>【定量目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 年 10 回 ・石巻市を中心とした情報提供（SNS など含む）年 12 回
	<p>【前年度からの課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で安心して過ごせる場所が少ない ・SNS など情報過多による育児不安を抱える人が多い

3、「子どもの健全育成に関する講座、ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力」

事業名	事業内容	事業回数	事業予定 場所	従事 者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数
ポジティブディ シプリン®プロ グラム(PD)	<p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プログラムの実施 ②託児室の自由開放、子育てを見守る人材の育成と循環 <p>【使用助成金・補助金】</p>	<p>1 開催 (全 9 回)</p> <p>交流会 1 回</p> <p>勉強会 (2 時間版か 支援者 版) 1 回</p>	<p>ささえあ いセンタ ー他</p>	<p>10 名</p>	<p>大人 100 名 子ども 40 名 ボランティア 50 名 (のべ)</p>
	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(プログラム参加者の) 子育ての不安の軽減 (孤立・不安解消) ・(プログラム参加者が) 自分の子ども以外の存在を気に掛ける人材になる ・大人が地域の子育て環境について考える機会をつくる <p>【定性】</p>				

	<p>・プログラム参加者が自身の子育てを支えてもらった経験から、自身も他の養育者を支える側の人材となり、子育ての支え合いが循環していく</p> <p>【定量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの実施 年間1回(全9回)、勉強会1回の実施(入門編2時間プログラム、もしくは支援者対象2.5時間版プログラム) ・プログラム参加者効果測定アンケートを実施し、行動変容があったか測定する。参加者の80%以上が子育てに対する安心感が増す。 ・プログラム参加者が他事業の活動に参加する(農園やひろば活動など)・・・5名 <p>【前年度からの課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者が、講座終了後も孤立することなく子育てについて話せる環境の設定 ・講座参加者が、自分の子ども以外にも気に掛ける存在を増やすことで孤立予防や、コミュニティ作りの促進 ・養育者や地域の誰もが子どもの権利やポジティブ・ディシプリン®を知るための周知活動の促進 				
事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
研修会	<p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民参加型の研修会の実施 ・子どもの権利の周知 <p>【使用助成金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハタチ基金 	年二回	にじいろ農園 釜会館	10名	<p>主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民： 子ども：のべ1140名 大人：のべ561名 ボランティア：のべ12名</p> <p>スタッフ10人 地域住民 (子ども10名 大人10名 ボランティア含む) 20～30名</p>

	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民参加型の研修会の実施 ・社会課題の理解を深めるきっかけとなる研修会の実施 <p>【定性目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が参加しやすい研修会の設定 <p>⇒子どもの権利を理解する大人・子どもが増えている</p> <p>【定量目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利に関する研修会の実施（年二回） <p>⇒参加者の50%が理解している</p>				
	<p>【前年度に出た課題】</p> <p>ー（前年度はスタッフ研修の実施のため）</p>				
事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
お絵描き教室	<p>【主な活動】</p> <p>お絵描き教室「ゴッコカン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども教室（2ヶ所） ・大人教室（3ヶ所） ・出張ワークショップ 	108回	6カ所	4名	<p>子ども会員及びその保護者・近隣住民・ボランティア会員：</p> <p>子ども：400名</p> <p>大人：200名</p> <p>ボランティア：100名</p>
	<p>【目標、定性目標、定量目標】</p> <p>アート（美術、図工）を楽しいもの、楽しむものであると考える仲間がいる状態</p> <p>アート（美術、図工）を楽しいもの、楽しむものであると語り合える場がある状態</p> <p>（子どもたちが）評価を気にしないでのびのび過ごしている、創作活動している、また（大人や社会が）子どもに対して評価しない、比べない、そんな場を作っていると理解している人が子ども20人、大人やボランティア30人</p>				
	<p>【前年度からの課題】</p> <p>日本人のアートや制作活動への苦手意識、またその低年齢化。</p> <p>美術、図工などの学校教育の評価制度の弊害。</p> <p>ホームページの更新や、Instagram、facebook、TwitterなどのSNS媒体の情報発</p>				

	信を定期的にアップデートする必要がある。				
事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
講演会活動	【主な活動】 講演会活動	10回	県内 7カ所 県外（オンライン含む） 3カ所	2名	子ども会員及びその保護者・近隣住民・ボランティア会員 ：のべ400名
	【目標、定性目標、定量目標】 にじいろクレヨンの仲間が増える 新規賛助会員 個人会員20名 団体会員3団体				
	【前年度からの課題】 引き続き、活動の様子や子どもの遊び環境、地域の変化を伝えていきたい。また能登地震などの支援活動のお役に立てるのであれば（要望があれば）、積極的に講演活動をしていきたい。				
事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
協働・連携事業	【主な連携団体】 ・NPO 法人子どもにやさしいまちづくり ・石の会 ・いしのまき会議 ・冒険遊び場せんだい・みやぎネットワークなど	20回	4ヶ所	2名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民： のべ150名
	【目標、定性目標、定量目標】 各団体との、頼り頼られる関係性がある状態 5団体				

※1 プレーパーク＝従来の公園、既成のブランコ、シーソー、鉄棒などがあるようなお仕着せの遊び場と違い、一見無秩序のように見えて、子どもたちが想像力で工夫して、遊びを作り出すことの出来る遊び場。(Wikipedia より引用)